

# 古河に行こーか

資料2

パネル展&  
シンポジウム  
特別号

## パネル展&シンポジウムを開催しました！

### ■パネル展アンケート

令和7年4月21日(月)～27日(日)に(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画(案)中間報告パネル展&意見ヒアリングを開催しました。

市民アンケート、ワークショップなどで伺った意見を踏まえ、新公会堂の目指す姿や計画の基本方針を市民委員会で取りまとめ、古河市において中間報告版として説明パネルを展示・公開し、ご意見を伺いました。

#### 開催概要

##### ■開催日時

|           |                           |
|-----------|---------------------------|
| 【パネル展】    | 4/21(月)16:00～4/27(日)14:00 |
| 【意見ヒアリング】 | 4/27(日)11:00～14:00        |
| 【アンケート】   | 4/21(月)16:00～4/27(日)14:00 |

##### ■開催場所

(パネル展&意見ヒアリング)  
イオン古河店・ジョイフル本田古河店・三和図書館の3か所で開催  
(アンケート)  
市役所各庁舎を含めた24施設及びWEBで実施

### 結果

意見ヒアリングは、全会場で102名の方に意見をいただきました。また、アンケートは、市内各庁舎を含めた24施設の合計で57件、WEBで266件の合計323件の回答をいただきました。10代～70代以上まで幅広い年代の方からご意見を伺うことができました。ありがとうございました。

#### 【意見ヒアリング結果】

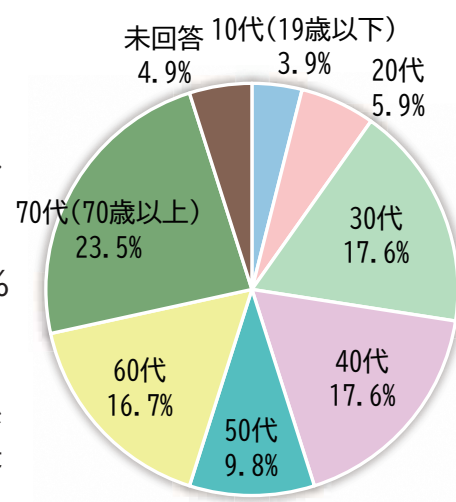
回答いただいた方の年代は70代(70歳以上)が最も多く、23.5%を占め、次いで30代・40代もそれぞれ17%以上を占めます。

施設整備について、肯定的な回答は29.4%、肯定的だが意見ありは57.8%と、全体の80%以上の方は施設整備に肯定的な意見をいただきました。特に、建設候補地への要望・提案に係る意見、施設機能・規模への要望・提案に係る意見を多くいただきました。

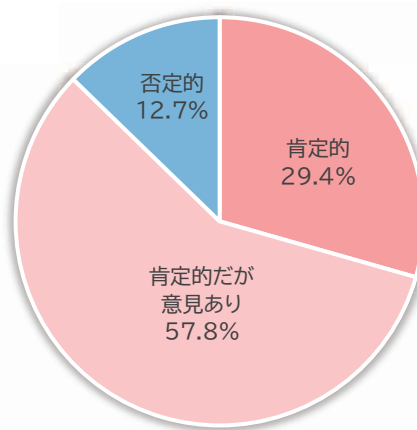
#### 【アンケート結果】

回答いただいた方の年代は50代が最も多く、20.4%を占め、次いで60代、40代も20%前後を占めます。施設整備について、肯定的な回答は19.2%、肯定的だが意見ありは47.7%と、全体の60%以上の方は施設整備に肯定的な意見をいただきました。特に、施設機能・規模への要望・提案に係る意見、他の機能の併設や、他のサービスの併用の要望・提案に係る意見を多くいただきました。

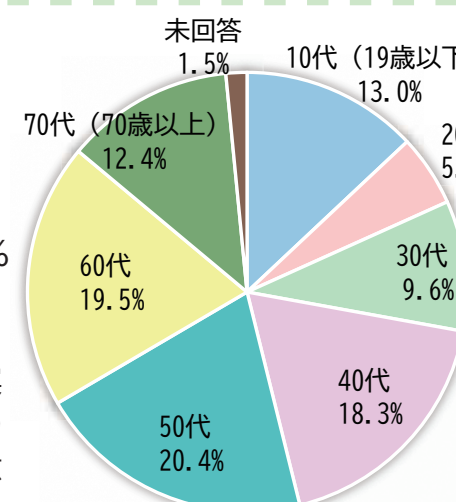
総回答数：102件



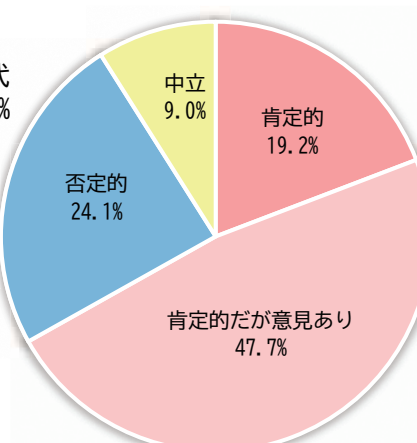
#### 【施設整備に対するご意見】



総回答数：323件



#### 【施設整備に対するご意見】



#### 意見ヒアリング詳細結果

イオン古河

機能  
管理運営

- 子どもの発表会、クラス会をしたい
- 規模・設備は計画しているもので十分よい
- 映画、バレエの鑑賞ができればよい
- 飲食をとれる、気軽に立ち寄れる
- 施設を造ることはよいが、その後の活用を考えてほしい
- イベントなど無いときも市民が利用できればよいと思う

建設候補地

- プロのコンサートが近くで観られることがよいこと
- 水害が心配
- 費用が心配
- 他の老朽化した設備、施設の改修に使った方がいいと思う



ジョイフル本田古河店

機能

- 他県からのアクセスなど利用客が増え、市内がもっと活性化することを期待できる
- 防災機能としても整備してもらいたい
- 子育て世代が気軽に利用できる施設が増えると良い
- 子どもが遊ぶスペース(室内)が併設されると良い
- 4歳～小学校前の子どもが遊べる場所

管理運営

- 音楽を習い事で行っている子などにも開放するようにみんなが使える施設になると良い



建設候補地

- 近場で行きやすい
- 渋滞しているのに、整備することで悪化しないか



三和図書館

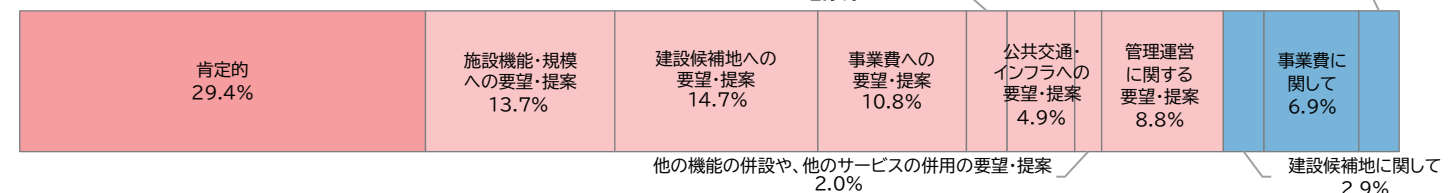
建設候補地

- 建設には賛成。コンサート等の機会が増えるのは良い
- 古河駅からのアクセスが気になる(プロをむかえる上で訪れやすいというのは重要)
- 十間通りの方が良い
- 水はけが特に悪い、川もあり、よく氾濫する

概算事業費

- 整備等について、古河市ではなく民間の力を借りて
- 必要性は感じるが、コストが心配

#### 【意見内訳】



#### アンケート詳細結果

機能

- NHKのど自慢、歌手のコンサート、バンド演奏を望みます
- クラシックコンサートなど、上質な音楽環境に十分対応な音響システムを検討してもらいたい
- 市内の学生の演奏会や成人式が出来ると思います
- ホールの観覧席に、車椅子のまま観覧することができるスペースや段差解消の工夫があると目指す姿として機能するのではないかと思います
- 若手音楽家の皆様が積極的に関わって素晴らしい施設にしてください
- 座席数1300席では少なすぎです。同規模の近隣施設を利用した際、かなり狭く感じましたし、用途が限定され中途半端で使い勝手の悪い施設になりかねません
- 高機能なスタジオは素晴らしいと思います
- 災害時の避難所としての機能を持たせてください
- キッズスペースとしての役割は重要だと感じた
- 高齢者と子供が共有できる場所などが欲しい
- トイレを十分な個数設けて欲しい

建設候補地

- 新たなまちづくりの拠点として他の施設と相乗効果が生まれることを期待します
- あの場所がどんどん変わって行くのが古河市が動き出した感じでワクワク嬉しいです
- 候補地はアクセスが良く、民間企業による開発もあり、市民にとって使いやすいと考える
- 公共交通機関の経路作成やシャトルバスの設定など自家用車以外でのアクセスの選択肢が必要かと思ひます
- 渋滞が多く、近隣の道路も混雑しやすく、大雨の際に浸水するエリアだったと思います。場所が変更できないなら、しっかり対策してもらいたい

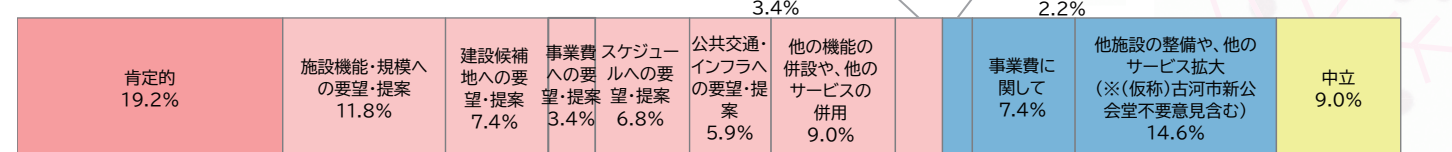
管理運営

- 施設利用の際にネットでの予約や空き状況の確認が可能になると、さらに利用しやすいと考える
- クラシックコンサートやミュージカルなどプロが満足いく十分な設備を使いこなせるスタッフが入ってくればと思う
- 民間主導としても良いが、スタジオ、小ホールは小中学生の活動でも使えるよう、利用料金は抑えてほしい
- 市職員が複数人常駐していると安心して利用できるポイントになると思う
- 市民も関わった組織を立案して頂きたい
- 市の財政を圧迫する事のない管理運営を十分考えて下さい

スケジュール

- よりスピード感のあるスケジュールを組んで欲しい
- もっと早く完成させた方がよいと思います

#### 【意見内訳】





## ■シンポジウム

令和7年5月11日（日）に、（仮称）古河市新公会堂基本構想・基本計画（案）中間報告シンポジウムを開催しました。  
前半の部では講師をお迎えして地域における文化施設の必要性やこれからの文化施設整備について基調講演していただいた後、古河市から（仮称）古河市新公会堂基本構想・基本計画（案）について中間報告を行いました。後半の部では、講師の方々と針谷市長によるパネルディスカッションを行いました。  
会場には約160名の方にご参加いただき、皆さまと新公会堂について考えることができました。ありがとうございました。

### 基調講演1：テーマ「地域におけるホールと文化事業の必要性」

【講師】古橋 祐 氏（昭和音楽大学客員教授）

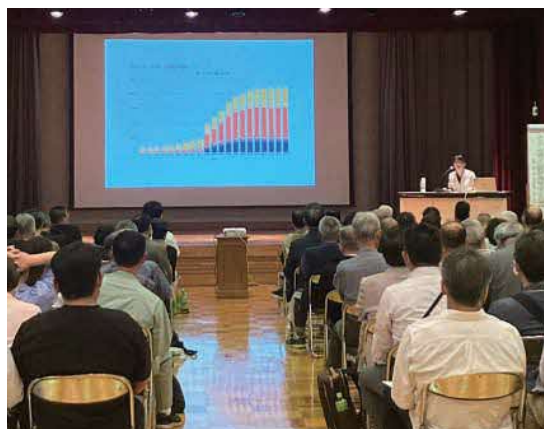
- ・芸術の街を支えるボランティアは昭和音大のホールで行われる芸術祭をきっかけに、15年以上をかけて数人から123名まで拡大した。ホールで行われるイベントの手伝いだけでなく、講座に参加するなど、ホール以外での活動の輪が広がっている。
- ・芸術は「街」を育て、「人」を育てる。芸術を「育てる」には「人々」が必要である。芸術が「育つ」には時間をかけて地道な活動を行うことが重要である。そのためには拠点が必要である。



### 基調講演2：テーマ「地域で文化施設を建設することの意味」

【講師】小林 真理 氏（東京大学院教授）

- ・市町村の合併を契機に多くの自治体が文化施設を整備したが、それは合併前の地域の文化を維持しつつも、一つの自治体としての一体感を形成する上で人々がリアルに集まり、交流する場として文化施設は求められていたという調査結果もある。
- ・地域の活動を持続可能にする場所として広場や祭りがあり、天候に関係なく人びとが集まれる場所として文化施設は重要。
- ・文化施設は病院や福祉施設のように必要性に切迫感を感じにくい、文化施設は全世代に幸福感をもたらす可能性のある施設である。



### （仮称）古河市新公会堂 基本構想・基本計画（案）－中間報告版－

（仮称）古河市新公会堂基本構想・基本計画（案）－中間報告版－は、以下の内容について検討状況を報告しました。

- ・文化芸術施策に関する動向の整理
- ・古河市の現況調査と分析
- ・（仮称）古河市新公会堂の施設の目指す方向性と役割
- ・施設機能の基本方針
- ・施設整備の概要
- ・建設候補地の選定
- ・概算事業費と整備手法
- ・管理運営計画
- ・事業スケジュール

今後、アンケート・意見ヒアリングなどのご意見を踏まえ、最終版としてとりまとめを進めてまいります。



### 開催概要

#### ■開催日時

5/11（日）13:30～15:30（13:00 開場）

#### ■開催場所

共和電設とねミドリ館  
（生涯学習センター総和）多目的ホール

### パネルディスカッションテーマ「市民とともに創る新たな文化の拠点」

テーマに沿って以下のような内容のディスカッションが行われました。

- ・計画段階での管理運営計画の必要性について
- ・新公会堂建設後の文化活動について

【パネリスト】 針谷市長、古橋 祐 氏、小林 真理 氏

【モデレーター】伊東 正示 氏（（株）シアターワークショップ代表）

#### 【主なご発言】

##### ○ 針谷市長

- ・ある決まった時間や場所で質の高い文化に触れる機会は非常に重要である。
- ・体育館で第九を行うことができるほど歴史文化がある「まち」で、発表の場が整えば、色々な文化活動をさらに行いたい熱心な市民の方が多い。
- ・古河市出身のアイドルや映画監督、アニメーター、漫画家など著名人が多く、表彰される伝統芸能文化もある。
- ・市民の方々に新公会堂の使い勝手の要望をどんどんだしてもらい、それを反映する新公会堂ができれば、今以上に市民の方々の幸福度は自然とあがってくると思う。
- ・新公会堂が建設され、市民、市外の方々が集まり、文化芸術活動を行うことで、たくさんの文化に触れるだけでなく新たな文化を体験することにもなり、日常的にえられる「広場」が形成されることになる。
- ・古河市の演者の質は高いと思っているため、運営方法によってもっと色々な可能性を見出せると考えられる。

##### ○ 古橋 祐 氏

- ・新公会堂が建設された後が重要で、それはもう始まっている。
- ・使い方を縛るルールではなく、どのように使えたら使いやすいか皆で考えた方がよい。
- ・文化芸術活動の拠点施設があることで文化芸術活動に感動できる体験の機会がうまれることがあり、将来の方々に新公会堂をレガシーとして残していただきたい。

##### ○ 小林 真理 氏

- ・文化芸術活動の拠点施設があることで色々な人々が集まり、新しい文化が生まれ、文化で人々が繋がれることが起きる。
- ・文化芸術活動に参加すると日常的に楽しくなることを知ってもらうために、参加方法の募り方やどのような文化芸術活動を行っていくかを管理運営計画の中に入れておく必要がある。
- ・文化芸術活動を知らない方に、文化芸術活動を必要とする方がどういう方か知ってもらえることも大切である。



### 質疑応答

講演時間内にて、次のような質疑応答を行いました。詳細や聴き取りによる質問事項や回答につきましては、古河市ホームページよりご確認ください。

古河市ホームページ  
二次元コードはこちら→



#### （質問）

・小ホールの舞台はどのようなつくりになるのか。

#### （回答）

・小ホールの舞台の袖や舞台空間をとってほしい要望と承り今後、検討していきます。

#### （質問）

・概算事業費に対する借金の額と借金を返済する年数、返済の財源を教えてください。

#### （回答）

・50年以上使う施設になり、今後使う方たちとの負担の公平を維持するため、概算事業費の75%については地方債の借入れを想定しており、残りの25%については基金を活かしていきたいと思っています。

#### （質問）

・建設した場合、借地であればそれらの金額を含めた維持費を教えてください。

#### （回答）

・想定している規模では、一般的に維持管理費については、年間で最低限1億5000万円程度かかります。様々な催し事を行うほどプラスでかかるとなると思います。

#### （質問）

・なぜ、大堤地内につくるのが一番の疑問ですが、いかがか。

#### （回答）

・市民委員会で議論してきた市民の方々に求められている機能を全て入れ、アクセスのよい駐車場を整備できることを考えて選定されました。最後は市で分析して予算化し、議会にかけていくことになります。

今後は、いただいたご意見をもとに、（仮称）古河市新公会堂基本構想・基本計画を取りまとめまいります。令和7年8月頃にパブリックコメントを予定しておりますので、事業推進にご協力をお願いいたします。

